

2017-2018 年度
国際ロータリー第 2660 地区

地区委員会

活動計画書



**ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE**

Rotary 

目次

地区戦略計画委員会.....	1
地区研修委員会	2
クラブ奉仕部門	
クラブ奉仕・拡大増強委員会	3
広報・公共イメージ向上委員会.....	5
職業奉仕部門	
職業奉仕委員会.....	6
社会奉仕部門	
社会奉仕委員会.....	8
青少年部門	
青少年活動委員会	10
ローターアクト委員会	12
インターアクト委員会	14
青少年交換委員会.....	16
国際奉仕部門	
国際奉仕委員会.....	18
ロータリー財団部門	
地区財団監査委員会	19
ロータリー財団委員会	19
米山奨学部門	
米山奨学委員会.....	21
学友委員会	22
危機管理委員会	24
地区大会実行委員会.....	25
ロータリーの友	26
地区財務委員会	27
地区規定審議委員会.....	28
ガバナー指名委員会	29
意義ある業績賞委員会.....	30

地区戦略計画委員会

委員長	高島 凱夫	(大阪中之島 RC)
顧問	井上 暎夫	(千里 RC)
アドバイザー	若林 紀男	(大阪東 RC)
アドバイザー	横山 守雄	(大阪中央 RC)
委員	片山 勉	(大阪東 RC)
〃	松本 進也	(大阪北 RC)
〃	山本 博史	(大阪南 RC)
〃	四宮 孝郎	(大阪西南 RC)
〃	塩谷 眞治	(大阪東 RC)
〃	宮里 唯子	(茨木西 RC)
幹事	村橋 義晃	(大阪中之島 RC)

○活動方針

ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニーが地区の運営方針を共有し、変化する地区の状況に適した運営計画を円滑に推進する為の協議を行い、具体的な計画の策定をサポートする。

○活動計画

- ① クラブ戦略計画委員会未設置クラブにおける委員会発足を推奨し、各クラブの活動の中長期的な活性化をサポートする。
- ② 2018-19年度からの地区組織改定案の検討を行い、各地区委員会の活動目的と必要な機能が整合する組織への変革を目指し、継続的に検討協議を行う。

地区研修委員会

リーダー	大谷 透	(大阪西南 RC)
サブリーダー	岡部 泰鑑	(大阪城南 RC)
〃	福家 宏	(八尾中央 RC)
〃	泉 博朗	(大阪帝塚山 RC)
ガバナーエレクト	山本 博史	(大阪南 RC)
委員	簡 仁一	(茨木 RC)
〃	井川 孝三	(八尾 RC)
〃	川上 善司	(大阪平野 RC)
〃	木越 正司	(大阪西 RC)
〃	安井 一男	(新大阪 RC)
〃	辻本 一義	(東大阪 RC)
〃	池尻 誠	(八尾 RC)
〃	境 高彦	(大阪城南 RC)
地区代表幹事	塩谷 眞治	(大阪東 RC)

○活動方針

会員各位が、それぞれのクラブに於いて、クラブライフを楽しみつつ、ロータリアンとして成長できるようなクラブ作りのサポートを目指します。

そのためにはロータリーの基本理念と、本年度の RI テーマ及び地区ガバナーの方針を理解し、ロータリーが何らかの変化をもたらす事によって、その存在意義と認知度が高められるようなクラブ作りの支援を活動方針とします。

○活動計画

①クラブの責任ある役職にある方々を対象としたセミナーの支援。

(PETS、地区チーム研修セミナー、地区研修・協議会を積極的に支援する)

②新会員にロータリー精神を会得して貰うための努力は、基本的にはクラブの責務であるが、2016 RI 規定審議会で各クラブの裁量権が強調され、新しいクラブや従来と異なった特色を持つクラブの誕生を見た昨今、「手続き要覧」や「ロータリーの心と実践」の再読が求められるが、本年は以下の3点にポイントを置いた活動計画をたてる。

- ・ロータリアンとしての研修に役立つような資料の提供に努める。
- ・各 IM でガバナー補佐を中心とした新会員研修プログラムの企画があれば協力する。
- ・新しいクラブの健全な成長をひたすら願い、特別代表に協力する(具体的にはニーズを知るための努力として輪番制で委員の例会出席を考慮する)。

クラブ奉仕・拡大増強委員会

委員長	藤井 眞澄	(大阪南 RC)
副委員長	加茂 次也	(東大阪 RC)
〃	安部 吉宏	(大阪西 RC)
〃	高橋 司	(大阪東 RC)
〃	板垣 善雄	(高槻東 RC)
委員	宮崎 史子	(大阪そねぎ RC)
〃	新庄 幸一	(枚方 RC)
〃	川田 貴亮	(大阪南 RC)
〃	下井 謙政	(大阪南 RC)
〃	井上 嗣仁	(吹田江坂 RC)
〃	奥田 吾朗	(大阪 RC)
〃	岡田 修一	(大阪平野 RC)
〃	瀬尾 公一	(大阪大手前 RC)

○活動方針

片山ガバナーは、今年度のスローガンとして「個性を生かし参加しよう」を掲げられ、「ロータリーの基本理念を踏まえつつ会員の特性を生かした全員参加による奉仕活動を実践し、合わせて公共イメージの向上を図ることによりクラブの認知度を高め会員増強にも繋げることが出来る。会員増強により、クラブの活力を高め、奉仕活動をより充実することが出来る。」という趣旨の説明をされている。

当委員会ではこの趣旨を踏まえ、クラブの活性化と会員増強について、情報の収集、調査研究を行い、各クラブの実状を踏まえ適切なサポートに努めてゆきたい。

○活動計画

1. 会員増強セミナーの開催

- ・6月3日(土) 大阪 YMCA 会館
- ・アンケートなどで各クラブの状況、課題などを調査し、これをもとに研修を行い、会員増強について理解を深める。

2. 会員増強のための方策の調査、研究

地区内に止まらず広く会員増強活動の手法、好事例などを調査、研究し、各クラブに情報提供する。

3. 活性化につながる各クラブの取り組み状況の調査、研究

2016年の規定審議会で採択されたクラブ運営の柔軟ルールを活用状況、各クラブの活性化につながる方策などについて調査し各クラブへ情報提供する。

4. 会員増強に関する卓話

各クラブの依頼に基づき、会員増強に関する卓話を行い、理解促進に努める。

5. 会員拡大に関する調査・研究

新クラブ設立も含めた、各種調査、研究を行う。

広報・公共イメージ向上委員会

委員長	梅原 一樹	(大阪中之島 RC)
副委員長	新井 信彦	(大阪東 RC)
〃	藤田 和美	(大阪西南 RC)
委員	松尾 香津恵	(大阪アーバン RC)
〃	近藤 菜穂子	(大阪ネクスト RC)
〃	橋上 聖	(大阪淀川 RC)
〃	山西 陽祐	(高槻東 RC)
〃	細井 敦子	(大阪城東 RC)
〃	辻 幸雄	(大阪中央 RC)
〃	青木 かおる	(大阪みおつくし RC)
〃	田島 暢	(大阪平野 RC)
〃	北村 光司	(大阪大手前 RC)
〃	吉田 政雄	(茨木 RC)

○活動方針

片山ガバナーのスローガン「個性を生かし、参加しよう」に基づき、地区内 82 クラブの広報意識の強化・積極的な広報活動の促進を図り、それらの広報活動のサポートに務め、ロータリー戦略計画の 1 つでもある公共イメージと認知度の向上を目指してまいります。

○活動計画

1. 広報活動の強化とサポート

- ・奉仕活動を通じた積極的な広報活動のサポート
- ・クラブ間、クラブと地区のコミュニケーション
- ・取材依頼書を活用したマスメディアによる広報活動

2. 効果的な露出の強化

- ・公共イメージとブランド認知の調和
- ・視覚イメージの統一化による認知度の強化と意識向上

3. IT 化の推進

- ・ My Rotary の登録の促進
- ・ Rotary Club Central の活用

職業奉仕委員会

委員長	北村 讓	(大阪中之島 RC)
副委員長	入谷 治夫	(高槻 RC)
〃	桑原 健郎	(大阪南 RC)
〃	濱中 眞希子	(大阪北梅田 R..C)
委員	青田 朝代	(大阪中央 RC)
〃	西口 宗宏	(大阪アーバン RC)
〃	西辻 豪人	(大阪東南 RC)
〃	笠井 実	(八尾 RC)
〃	澤田 宗久	(大阪船場 RC)
〃	山崎 修一	(大阪鶴見 RC)
〃	福山 信也	(大阪城東 RC)
〃	城口 俊雄	(大阪北 RC)
〃	森田 正治	(豊中千里 RC)

○活動方針

2017-18年度 RI 会長イアン H.S.ライズリー氏のテーマ“ROTARY : MAKING A DIFFERENCE” —ロータリー：変化をもたらす—会長は、私たちがロータリーで充実感を感じるのは、毎週、毎年、「変化をもたらす」ロータリーの一員であることからだと言われています。

片山ガバナーは、イアン H.S.ライズリーRI 会長のテーマを実践して行くためにスローガンとして、“個性を生かし、参加しよう” —ロータリーの基本理念と奉仕活動の充実と実践を表す言葉—。そして、5つの具体的目標を掲げられました。地区職業奉仕委員会は、この「テーマ・スローガン・5つの目標」を活動にしっかり反映していきたいと思えます。今年度の RI 会長とガバナーのお考えを理解することは、これまでの職業奉仕を学ぶことで、活動に生かすことができるものと考えております。ロータリーは親睦や奉仕活動が大事であることは言うまでもありません。しかし、その基本理念を深く理解することが最も大切なことであると思えます。それが、“変化をもたらす”・“個性を生かし、参加しよう” に繋がって行くと思えます。

本年度の地区職業奉仕委員会では、IM 毎の担当制を継続し、各クラブの職業奉仕活動の支援と情報交換を目的に行ってまいります。そして、引き続いて合同勉強会を実施します。それが、1月の職業奉仕月間において、クラブの職業奉仕委員長自身の卓話にお役に立ち、職業奉仕活動の大事な1つに繋がり、又、会員の職業奉仕理解の一助になるのではと考えます。

又、一昨年度より作成中の「職業奉仕 Q&A」を地区ホームページで公開しますので、クラブ職業奉仕委員長の皆様のサポートツールとしてご活用して頂きます様お願い申し上げます。

「継続は力なり」といいますが、これらの活動を継続事業として実施し、皆様のクラブの発展のお手伝いができるよう努めてまいります。

○活動計画

1. 2017-18 年度のための地区研修・協議会の実施（2017 年 4 月 15 日）
新年度方針・活動発表、地区活動への協力をクラブ職業奉仕委員長へお願いする。
2. クラブ職業奉仕新旧委員長会議の実施（2017 年 5 月 13 日）
前年度の報告会であり、2017-18 年度への引き継ぎを目的に行います。
3. 合同勉強会の実施（2017 年 9 月 2 日）
職業奉仕をより知る為に、クラブ職業奉仕委員長と地区委員の合同勉強会を行う。
4. クラブ支援の実施
IM 担当者が、各クラブのご要望の確認や情報交換を行い、支援を実施致します。
5. アンケートの実施
各クラブの事業計画や活動報告、アンケートをお願いし回答を依頼する。
6. クラブ職業奉仕新旧委員長会議の実施（2018 年 5 月 12 日）
本年度の集大成となる報告会であり、次年度への引き継ぎを目的に行います。
7. 地区委員会提供資料「職業奉仕 Q&A」の更新
適宜、皆様からのご意見や地区委員会内での議論により、資料内容の見直しを行いより分かりやすいものにしたいと考えています。
8. 地区委員会の実施
原則毎月 1 回実施し、クラブ支援その他の事案について議論を行います。

社会奉仕委員会

委員長	望田 成彦	(摂津 RC)
副委員長	塩尻 明夫	(大阪船場 RC)
〃	山岡 裕幸	(大阪北 RC)
委員	栗津 直晶	(くずは RC)
〃	榎原 一滋	(吹田西 RC)
〃	木下 恵美子	(大阪イブニング RC)
〃	中道 孝治	(守ロイブニング RC)
〃	藤本 年朗	(箕面千里中央 RC)
〃	山田 耕司	(大阪御堂筋本町 RC)
〃	石田 佳弘	(高槻 RC)
〃	佐田 幸夫	(大阪ユニバーサルシティ RC)
〃	佐野 正剛	(枚方 RC)
〃	中村 修	(大阪天満橋 RC)
〃	藤井 武治	(大阪リバーサイド RC)
〃	町 博昭	(新大阪 RC)
〃	森垣 佳子	(大阪城北 RC)

○活動方針

今年度、片山勉ガバナーはスローガンに「個性を活かし、参加しよう」と定められ、5つの具体的目標を挙げられました。その中で、[基本理念と奉仕活動の実践][公共イメージの向上]について、当委員会は取り組んで行かなければならないと考えます。1923年セントルイス大会で採択された、ロータリーに於ける社会奉仕の方針が決まったと言われている【決議 23-34】、1992年の規定審議会でも社会奉仕に関する新声明として採択された【決議 92-286】の内容を理解し、昨今のクラブを散り巻く諸問題、特に会員減少や年齢構成の変化などを踏まえ、変化のスピードに遅れることなく、絶えず進化をして同じクオリティを更新していくよう邁進致します。

どのような環境下であっても、ロータリーの活動の鼓動が奉仕の実践であるという事は変わりません。クラブが行う社会奉仕活動のアイデアの源流となるために、地区委員会のスケールメリットを活かした情報を収集・発信する事が不可欠です。単独で理想の奉仕活動を行うには色々な難しいハードルを飛び越えなければならない場合があると考えられますが、近隣や親子クラブ、友好・姉妹クラブ、ロータリーファミリーや地域の団体と協力する、また、ロータリー財団の補助金を有効活用できれば理想の活動に繋がることでしょう。

各クラブの地域のニーズを汲みとった奉仕活動が、単独実施の如何に関わらず、実践され、皆さまの掲げる理想に近づくことが《ロータリーが行う奉仕活動》として、他で

行われている活動との違いを明確にし、各々の素晴らしい成果が地域を進化させていくと確信し、その実現のために必要な情報提供と、クラブが必要とされるサポートを行うべく、委員会一丸となって委員会活動に取り組んで参ります。

○活動計画

- ・クラブ社会奉仕委員長会議の実施
(年2回 第1回2017年9月9日(土)・第2回2018年2月17日(土) 予定)
- ・クラブ委員長会議、地区研修・協議会での地区補助金の活用セミナー
(ロータリー財団委員会)
- ・各クラブで行われている社会奉仕活動の事例紹介
- ・大麻・危険ドラッグ・薬物乱用防止活動への協力(大阪府)
- ・献血活動への協力(日本赤十字血液センター・ローターアクト委員会・ロータリーファミリー)
- ・大和川・石川クリーン作戦への参加(大阪府・大阪市・国土交通省近畿地方整備局)
- ・豊かな環境づくり大阪府民会議構成団体への参画(大阪府)
- ・地震予知・防災に関する研修の実施
- ・卓話講師の紹介

青少年活動委員会

委員長	齋藤 清貴	(大阪ユニバーサルシティ RC)
副委員長	濱谷 和也	(東大阪 RC)
〃	柴崎 秀樹	(大阪西北 RC)
委員	宮田 佳昭	(大阪平野 RC)
〃	森田 邦治	(大阪心齋橋 RC)
〃	長谷川 浩	(茨木 RC)
〃	尾崎 孝	(大阪アーバン RC)
〃	今井 卓哉	(池田くれは RC)
〃	吉川 大輔	(大阪梅田東 RC)
〃	北村 公一	(豊中 RC)
〃	田中 明男	(豊中千里 RC)
〃	金谷 和浩	(大阪フレンド RC)
〃	渡辺 紀生	(大阪西南 RC)
〃	松山 大祐	(大阪南 RC)
〃	野村 俊隆	(八尾 RC)
〃	川田 隆	(八尾 RC)

○活動方針

RYLA セミナーは まだまだ全クラブのロータリアンに知られておらず、更なる広報活動に努めます。

またホストクラブと協力し無駄を省きセミナー運営費の節約に努めます。

セミナー内容はホストクラブの主張・独自性を尊重しながらも、基本になる内容（実施要領）を考え、その上で春、秋のセミナー区別を検討します。その為にも地区やチーム RYLA の保有するセミナー技法や手法を見直しレベルアップを図ります。

前年度、小学高学年対象の事業（ロタキッズ）試験的事業を 1 つ実施し本年度に繋げます。

青少年奉仕各委員会との連携・交流を深めます。

○活動計画

◆青少年活動委員会

2 カ月に 1 回、第 3 火曜日もしくは第 2 火曜日 18 時よりガバナー事務所会議室にて開催。

◆チーム RYLA 定例会

毎月、第 4 水曜日 19 時 30 分よりガバナー事務所会議室にて開催。

◆秋の RYLA セミナー

ホスト：豊中ロータリークラブ

開催日：2017年10月7日（土）～10月9日（月・祝）

場 所：ホテル阪急エキスポパーク

◆春の RYLA セミナー

ホスト：八尾ロータリークラブ

場 所：関西大学

開催日：2018年4月28日（土）～4月30日（月・祝）

◆小学高学年対象の事業（ロタキッズ）

ローターアクト委員会

委員長	山本 博之	(大阪東 RC)
副委員長	中島 清治	(大阪天満橋 RC)
〃	宮野 純	(大阪北 RC)
〃	菅本 泰年	(新大阪 RC)
〃	前川 経雄	(東大阪 RC)
委員	山中 直理	(大阪 RC)
〃	岡村 良弘	(大阪南 RC)
〃	石川 益三	(大阪難波 RC)
〃	浦 収	(箕面 RC)
〃	島ノ内 英久	(大阪東 RC)
〃	田中 康正	(八尾 RC)
〃	西 秀樹	(八尾 RC)
〃	向井 弘	(寝屋川 RC)
〃	山中 政彦	(大阪西 RC)

○活動方針

ローターアクトクラブは若者の集団とはいえ、それなりの見識も持った大人の団体でもあります。そして例会や地区行事等の事業は主体的に関わるメンバーにとって、企画・実施・報告の全てのプロセスが大きな勉強の場になり、将来職場や団体でリーダーシップを発揮できる有能な人材を育成する有意義なものだと確信します。

本年度当委員会はこの事を念頭に置き、ローターアクターの主体性を尊重し、何事にも前向きにチャレンジできる環境づくりをしたいと思います。

RAC のことは RAC に任せ、ロータリアンにしかできないサポートは何かを考え、行動に繋げていくことを活動方針とします。

○活動計画

(各クラブの活性化)

当地区には 19 のローターアクトクラブがありますが、それぞれのクラブによって活性度には大きな差があります。その差が起こる一つの要因としてロータリアンの関わり方の違いが大きいということが先期の会長会でも意見として出されていました。ロータリアンとしてできることとして活性度の低いクラブの提唱ロータリークラブへの働きかけ、或いは例会への当委員会メンバーの積極的参加により各クラブが等しく活性化できるように取り組みます

(会員増強)

定年のあるローターアクトクラブにとって、絶え間なく会員を増強することは必要不可欠です。ローターアクターも日頃から主体的に取り組んではいますが、これにロータリアンとしても注力していかなければなりません。提唱ロータリークラブには企業派遣や子息の入会のお勧め、未提唱のクラブには RAC サポートシステムを活用して認知度の向上と企業派遣や子息の入会を勧め、会員の増強に資する活動を行います。

(地区青少年部門との連携)

地区の他委員会との連携はこれまでも一部行われてきていますが、その基本はお互いの事業を理解し合うことだと思います。その為に可能な限り他委員会の事業にも参加する。

また RAC の事業に他委員会の方にも参加していただくような相互交流の流れを作り、将来的に共同で事業に取り組むことに繋げていきます。

(各事業の内容精査と予算管理)

事業の意義目的と実施内容の整合性、適正な予算の執行を勉強することはローターアクターにとって、非常に重要な事柄です。将来企業や団体に活躍できる人材育成の為に注力していきます

(ローターアクト関連事業)

【2017 年】

地区献血 (7 月 23 日・2 月 25 日)・ローターアクト正副委員長会議 (9 月 9 日)

全国統一アクトの日 (9 月 10 日)・秋の RYLA セミナー (10 月 7~9 日)

関西四地区合同交流会 (10 月 29 日)・海外研修 (11 月 3~6 日)

2760 地区国内研修受け入れ (12 月 2~3 日)

【2018 年】

地区連絡協議会 (1 月 21 日)・世界 RACDAY (3 月 11 日)・全国ローターアクト

研修 (3 月 17~18 日)・春の RYLA セミナー (4 月 28 日~30 日)・

地区年次大会 (5 月 20 日)・リーダーシップフォーラム・新人研修会 (6 月 10 日)

合同役員会 (月 1 回)・大阪北ゾーン連絡協議会 (月 1 回)・大阪南ゾーン連絡協議会 (月 1 回)

大阪梅田 RAC 25 周年式典 (未定)・大阪御堂筋本町 RAC 20 周年式典 (未定)

インターアクト委員会

委員長	小浦 芳生	(大阪 RC)
副委員長	土屋 篤	(大阪天王寺 RC)
〃	中野 隆二	(大東 RC)
委員	中西 広美	(八尾 RC)
〃	三谷 順一	(守口イブニング RC)
〃	早瀬 祥人	(大阪南 RC)
〃	松井 義明	(大阪淀川 RC)
〃	西浦 誠二	(大阪天王寺 RC)
〃	片山 一步	(大阪帝塚山 RC)
〃	小阪 大輔	(高槻 RC)
〃	吉田 法功	(八尾 RC)
〃	川瀬 康平	(大阪 RC)
〃	青井 和夫	(大阪東 RC)
〃	杉村 雅之	(大阪中之島 RC)

○活動方針

一人でも多くの生徒に入会、参加して頂きインターアクトクラブの素晴らしさを広め奉仕と国際理解及び親善を推進し健全な青少年の活動と育成を支援していきます。また、多くのロータリアンにも行事などに参加して頂き、活動の意義を広く理解してもらえるよう努めます。

(1) インターアクターのリーダーシップ

建設的な指導力を養成し、自己の完成を図るためにも、各事業の企画立案と実施に各校生徒の自発的、主体的な参加を促します。前年度の方針を引継ぎ、また変革しつつロータリアンと各校顧問との合同会議にインターアクターに参加をする機会を与え積極的な意見を述べていただきます。

(2) 青少年奉仕部門との連携強化

青少年活動委員会、ローターアクト委員会、青少年交換委員会とは、ワークショップや地区献血などを通じ連携を図り、他の委員会の事業への参加を通じて他人への思いやり、他人の力になる心構えや喜びを感じられる機会を実践していきます。

(3) 現在インターアクトクラブのある 9 中学校・高等学校、9 提唱ロータリークラブとの情報交換や連携強化、さらに全国インターアクト研究会との情報交換や参加を促進します。

(4) 新クラブ創立、さらなる増加を目指し、提唱クラブの有無を問わず全ロータリアンに理解を深めていただき、参加を図るよう努めます。

(5) 地区学友委員会と協力し、ロータリーの活動や奉仕をサポートします。

○活動計画

- ・海外研修：海外インターアクターとの交流を図る中で国際理解と親善を深め国際的視野を持つリーダーの育成に寄与します。今年は8月上旬に第3450地区 香港・マカオを訪問します。現地のインターアクターと共に奉仕活動として施設の訪問や交流会を行います。

ホスト：四天王寺高等学校・中学校 IAC（提唱クラブ：大阪天王寺 RC）

- ・クラブ合同会議：地区委員及び各校顧問並びにインターアクター代表と共に活動方針の確認や活動計画、概況状況の報告及び情報交換を行います。（随時開催予定）

- ・年次大会：地区及び各校インターアクトクラブの活動報告を行い、奉仕の精神と活動意義の再確認を行います。（2017年11月5日予定）

ホスト：相愛中学・高等学校 IAC（提唱クラブ：大阪 RC）

- ・SCRUM 発行：1年間の活動をまとめた「SCRUM」を編集・発行をします。

担当校：高槻中学校・高等学校 IAC（提唱クラブ：高槻 RC）

- ・新入生歓迎会：各校の新入生と共に親睦交流を深め、奉仕の精神と活動への動機付けを目標に行います。（2018年6月予定）

ホスト：相愛中学校・高等学校 IAC（提唱クラブ：大阪 RC）

青少年交換委員会

委員長	横田 孝久	(東大阪 RC)
副委員長	片渕 正一	(大阪天王寺 RC)
〃	三好 えり子	(大阪そねぎき RC)
〃	生沼 寿彦	(大阪うつぼ RC)
〃	一由 麻里	(東大阪東 RC)
委員	川本 典美	(大阪ネクスト RC)
〃	伊藤 定夫	(大阪リバーサイド RC)
〃	奥 嘉隆	(交野 RC)
〃	山本 宏樹	(寝屋川 RC)
〃	松尾 治	(東大阪西 RC)
〃	西川 雅章	(大阪西 RC)
〃	大橋 秀典	(東大阪東 RC)
〃	朝田 由治	(大阪北 RC)
〃	岸本 健之亮	(大阪北梅田 RC)
〃	土方 慶之	(茨木 RC)
〃	和泉谷 研	(大阪帝塚山 RC)
〃	寺川 明宏	(大阪南 RC)

○活動方針

「青少年交換」は参加した学生だけでなく、事業に携わるすべての人々が異文化に接する機会を得る事で国際相互理解と平和の推進に役立つ、重要な国際ロータリー公式プログラムのひとつです。参加した学生には派遣国での生活や他国からの参加者との交流を通じて、生涯にわたって国際的に活躍できる資質を身に付けてもらおうと共に、将来のロータリアン候補として奉仕の精神を学べるよう研修会等を企画してまいります。また、交換期間を通じて参加学生の目的遂行と安全確保のため、派遣先との情報交換や危機管理体制の確立に努めます。同時に、地区内に広くホストファミリーとして参加して頂けるロータリアンや協力家族を募集して、このプログラムへの参加者の拡大に取り組んでまいります。

○活動計画

1. 青少年交換人数

長期交換派遣生 (約1年間) : 6名 短期交換派遣生 (約3週間) : 1名
長期交換受入生 (約1年間) : 6名 短期交換受入生 (約4週間) : 1名
交換相手国 : アメリカ3名、カナダ2名、フィンランド1名、ポーランド1名

2. 研修会

派遣候補生 : 1次選考後、プログラムの理解と語学力(発表力)の向上を目的として毎月1回のオリエンテーションを行う。

来日学生 : 来日直後の2泊3日受入研修の他、2回の国内旅行、ROTEX行事を通じて日本文化とロータリー活動への理解を深めてもらう。

3. 危機管理

ロータリー章典に定める保険への加入確認と地区危機管理委員会の方針に基づいた危機管理体制の確立に取り組む。

4. ROTEX（青少年交換学友会）活動への支援

青少年交換学生と同世代である彼らのサポートはこの事業に不可欠であり、また国際感覚を身につけた彼らの実践の場としても活躍してもらえるよう、活動の支援と協力をしてまいります。

5. ホストファミリーの確保

プログラムに直接参加しないクラブに働きかけ、ホストファミリーとしての参加をお願いしてまいります。

国際奉仕委員会

委員長	前田 要之助	(大阪東淀ちややまち RC)
副委員長	宮崎 正人	(高槻東 RC)
〃	柿本 円	(大阪リバーサイド RC)
委員	中尾 功	(摂津 RC)
〃	塚本 英	(大阪北梅田 RC)
〃	伊藤 智秋	(高槻 RC)
〃	成田 博美	(大阪西南 RC)
〃	泉 光典	(門真 RC)
〃	檜皮 悦子	(大阪中之島 RC)
〃	濱口 健宏	(大阪南 RC)
〃	山村 幸久	(大阪梅田東 RC)
〃	初木 賢司	(くずは RC)
〃	木下 基司	(吹田西 RC)
〃	西側 真里子	(大阪みおつくし RC)

○活動方針

- ・グローバル補助金や地区補助金を利用して国際奉仕活動をサポートする。
- ・国際奉仕プロジェクトの代表例を各クラブへ紹介し、活動推進をする。
- ・海外クラブとの交流や友好クラブ・姉妹クラブ締結のサポートをする。
- ・各クラブの国際奉仕に関する活動状況を把握する。
- ・国際奉仕活動に消極的なクラブへのPRや助言をする。
- ・ニュースレターの発行

○活動計画

1. クラブ委員長会議 年2回開催 1回目 2017年7月29日(土)
2回目 2018年1月27日(土)
2. 地区主催会合に参加 地区チーム研修セミナー、PETS、地区研修・協議会
3. 合同委員会 ロータリー財団委員会との情報交換および研修会
4. 月次定例委員会 地区国際奉仕委員会を月1回開催
毎月第1木曜日 午後3時30分から午後5時30分
ガバナー事務所
5. 活動アンケート 各クラブの国際奉仕活動の計画・実施の進捗状況
6. ニュースレターの発刊 適時発刊する
7. 国際大会参加推進 クラブ委員会等会合時においてPRする

地区財団監査委員会

委員長	岩田 宙造	(大阪南 RC)
委員	和氣 主	(大阪北梅田 RC)
〃	高谷 晋介	(大阪西南 RC)

ロータリー財団委員会

委員長	宮里 唯子	(茨木西 RC)
ポリオプラス小委員会 委員長	廣田 亮彦	(大阪北梅田 RC)
資金推進小委員会 委員長/ポールハリス・ソサエティ・コーディネーター	大谷 隆英	(大阪柏原 RC)
資金管理小委員会 委員長	嘉納 治郎右衛門	(大阪 RC)
補助金小委員会 委員長	今西 良介	(大阪南 RC)
奨学金小委員会/ロータリー平和フェロースシップ委員長	岩佐 嘉昭	(東大阪 RC)
委員	岡本 幸治	(吹田 RC)
〃	高土 誠司	(大阪西北 RC)
〃	暁 琢也	(大阪南 RC)
〃	瀬川 昇	(吹田西 RC)
〃	柳山 稔	(東大阪西 RC)
〃	千種 成一郎	(大阪東 RC)
〃	中西 博之	(池田くれは RC)
〃	飯田 寛光	(八尾 RC)
〃	嘉納 秀一	(大阪 RC)
〃	浅井 勝史	(東大阪 RC)
〃	村橋 義晃	(大阪中之島 RC)
〃	廣瀬 哲三	(大阪北 RC)
〃	樋口 信治	(大阪 RC)

○活動方針

財団委員会(全体)

- ① ロータリアンの財団に関する知識と寄付を向上する
- ② クラブの財団プログラムへの参加を促す
- ③ 国際奉仕・社会奉仕委員会と協力し、クラブ人道奉仕の重点化と増加を図る

ポリオプラス小委員会

- ① ポリオ撲滅についてのより一層の啓発活動を行なう
- ② ポリオプラス基金寄付の地区目標額50ドル/会員達成を目指すクラブによる補助金の適正管理を徹底する

資金管理小委員会

資金推進小委員会

- ① 地区目標の達成を目指す(年次基金寄付150ドル/会員、恒久基金寄付ベネファクター1名/クラブ以上)
- ② ポール・ハリス・ソサエティに関する情報を発信し、会員数増進をはかる

補助金小委員会

TRFの授与と受諾の条件および地区補助金ハンドブックに基づき、DDF申請クラブに助言をすることに加え、DDFの配分が各申請クラブにとって機会均等となるように努める

奨学金小委員会

将来、ロータリー重点分野でのキャリアを積むことを目的とした海外留学希望者（修士課程以上）への支援を目的に、重点分野のいずれかに深く関係する経験、学歴、キャリアプランがある優秀なグローバル奨学生候補者を厳正に選考する

○活動計画

財団委員会(全体)

- ① 地区ロータリー財団セミナー（2017年9月@YMCA）
…クラブによる補助金活動の紹介
- ② 地区財団補助金管理セミナー（2018年2月@YMCA）
- ③ 地区社会奉仕/国際奉仕委員会クラブ委員長会議における財団補助金セミナー
・国際奉仕クラブ委員長会議…2017年7月・2018年1月
・社会奉仕クラブ委員長会議…2017年9月・2018年5月
- ④ 国際奉仕委員会と合同研修会の開催
- ⑤ 月度財団委員会・勉強会の開催

ポリオプラス小委員会

ポリオの啓発活動と寄付推進

資金管理小委員会

補助金の適正管理をするための必要な情報を各セミナーや地区社会奉仕委員長会議・地区国際奉仕委員長会議にて提供する

資金推進小委員会

- ① 各委員長会議、セミナー等を利用し、寄付の重要性への理解が深まるよう情報を発信
- ② 月度財団委員会で寄付状況を報告し、適宜各クラブへ資金推進の依頼を行う

補助金小委員会

- ① DDF審査を実施
- ② クラブの財団助金活動を推進するため、随時情報発信する

奨学金小委員会

- ① グローバル奨学生と平和フェローの募集
- ② 奨学生の選考および財団への申請
- ③ 奨学生渡航前のオリエンテーションの実施
- ④ 地区大会 分科会におけるグローバル奨学生の発表

米山奨学委員会

委員長	田中 隆弥	(池田くれはRC)
副委員長	岡部 倫正	(大阪城南RC)
〃	石井 博章	(吹田RC)
委員	久保 幸一	(大阪難波RC)
〃	栗山 博道	(大阪中之島RC)
〃	廣瀬 彰久	(守口RC)
〃	大和田 雅江	(大東中央RC)
〃	清水 久博	(大阪南RC)
〃	生駒 伸夫	(大阪RC)
〃	金子 薫	(千里RC)
〃	山田 康雄	(大阪東RC)
〃	末松 大幸	(大阪淀川RC)
〃	清水 清一	(大阪船場RC)
〃	森本 尚孝	(大阪北RC)
〃	芳賀 清	(大阪RC)

○活動方針

- ・ 地区内のクラブにおける米山奨学活動を支援する。
- ・ 国際人材育成事業としての米山奨学制度への理解を深めるよう努める。
- ・ 米山奨学生学友会（関西）との連携を深める。

○活動計画

月・日（曜日）	時 間	場 所	行 事 名
7月2日（日）	17:00～20:30	KKR ホテル	米山奨学生学友会（関西）総会
7月14日（金）	15:00～17:30	サニーストンホテル	大学等との意見交換会
9月30日（土）	14:00～16:00	サニーストンホテル	カウンセラー研修会
10月15日（日）	10:00～18:00	宝塚大劇場	レクリエーション
12月19日（火）	16:00～18:00	ガバナー事務所	面接官オリエンテーション
1月27日（日）	10:00～17:00	サニーストンホテル	2018 学年度奨学生面接試験
2月24日（土）	17:00～20:00	千里阪急ホテル	2017 学年度奨学生終了式
4月5日（木）	未定	未定	新奨学生オリエンテーション

学友委員会

委員長	溝畑 正信	(東大阪東 RC)
副委員長	福田 治夫	(守口イブニング RC)
〃	栗原 大	(大阪フレンド RC)
委員	吉田 悦治	(大阪大淀 RC)
〃	岩上 高幸	(茨木西 RC)
〃	吉崎 広江	(東大阪東 RC)
〃	木田 昌宏	(吹田西 RC)
〃	瓦谷 勝	(大阪西南 RC)

○活動方針

RI 第 2660 地区ロータリー学友会は、2017 年 3 月 27 日付けで、ジョン F ジャーム国際ロータリー前会長署名の、“上記学友会は正式に結成され、役員と会員が組織規程および細則の順守に同意し、ロータリー学友ネットワークへの加盟が認められました。よって以下の署名をもってこれを証します”との認証状を受けました。そして、2017 年 5 月 13 日(土)国際ロータリー第 2660 地区ロータリー学友会加盟認証状伝達式が、ロータリー学友 38 名、学友出身でロータリアンになった人を含めロータリアン 35 名、計 73 名参加のもとに開催されました。

新しい定義のロータリー学友は、ロータリー青少年奉仕活動に参画した青少年すなわち、ローターアクト、インターアクト、青少年交換、国際親善奨学生、グローバル補助金による奨学生、GSE、職業研修チーム、RYLA、ロータリー平和フェロー、米山奨学生を含むすべてのロータリープログラムの参加者です。

ロータリー活動の参加経験がある学友は、ロータリーにとっての有力な入会候補者となるだけでなく、クラブや地区の行事における講演者、プロジェクトの参加者、財団への寄付者として、ロータリーの活動や奉仕をサポートできます。

当委員会の活動方針は、この新しく結成された 2660 地区学友会の活動を支援していくことにあります。

なお、RI 第 2660 地区 ロータリー学友会役員は、

会長	古川 義晃 (チーム RYLA)
副会長	矢野 郁 (ロータリー財団)
副会長	何 玉翠 (米山学友)
幹事	田 原至 (チーム RYLA)
幹事	白川 史人 (ローターアクト)
会計	栗正 絵美 (ROTEX)
会計監査	潘 振興 (米山学友)

() 内は出身母体です。

○活動計画

- ・学友を発掘して地区学友会への参加を呼び掛け、さらに新たに誕生した学友に参加を呼び掛ける。
- ・地区学友会総会の補佐をする。即ち、活動計画案・予算案に関してアドバイスをを行う。
- ・学友会の例会、交流会、講演会やレセプション、学友の連絡網の構築、地区学友会ホームページ・投稿ページの構築、卓話者バンク作成、ロータリークラブへのアプローチ、学友会報の発行、学友会名簿の作成等、学友会の活動へのアドバイス、補佐をしていく。
- ・地区青少年関連委員会と協力する。

危機管理委員会

委員長	泉 博朗	(大阪帝塚山 RC)
副委員長	岩津 陽介	(大阪御堂筋本町 RC)
〃	松井 圭子	(大阪アーバン RC)
委員	山本 和良	(大阪南 RC)
〃	益田 哲生	(大阪北 RC)
〃	間石 成人	(高槻西 RC)
〃	菅沼 清高	
〃	畑山 博史	

○活動方針

ロータリーにとっての危機管理の危機とは地区内各ロータリークラブ、ロータリアンにとって「好ましくない事態の全て」を危機管理の「危機」とすると規定されています。危機管理委員会は規定された「危機」についてその防止・解決のために必要な提言や適切な指導・助言を行うと共に当委員会に報告のあった危機事案が対処事案かどうかを判断の上適切な対処の為の方策を講ずることを任務としています。

起きた危機に対処することも大切ですが、それ以上に危機の「芽」をいち早く見つけその危機の発生を未然に抑えることこそが大切だと考えます。

そのために各ロータリークラブ・ロータリアンの皆様には危機の「芽」を見つけた場合は速やかに危機管理委員会に連絡を頂きたいと思えます。

一年を終えてみて「今年は何もなかったですね」と言って終える委員会であって欲しいと願っています。

○活動計画

1. 現状に合った、総則、細則等の再編を行う
2. 危機管理について情報の収集、報告を行う
3. 情報の伝達が速やかに行われる体制を検討する
4. 危機管理に関する研修を単独、または他委員会の研修等に合わせて行う

地区大会実行委員会

委員長	山本 武男	(大阪東 RC)
副委員長	中許 忠和	(大阪東 RC)
大会幹事	松本 裕典	(大阪東 RC)
大会会計	林 修一	(大阪東 RC)
大会 SAA	新井 信彦	(大阪東 RC)
ホストクラブ会長	竹内 定夫	(大阪東 RC)

○活動方針

RI 会長並びに片山ガバナーの方針に基づいた各クラブの活動状況及び RI・地区の現状を理解し一層の奉仕活動意欲を高める機会を提供し、又グローバルに活躍する青少年の感銘深い講話や、社会の変化についての講演を聴きこれからのロータリーのビジョンを共有し、思い出に残る親睦・信頼を経験してもらえる地区大会を計画します。

○活動計画

2017-2018 年度地区大会は 2017 年 11 月 10 日 (金)・11 日 (土) 帝国ホテル大阪及び NHK 大阪ホールにおいて実施します。

大会第 1 日目は、オープニングセレモニーに続いて「分科会 1」一会長・幹事・一般部門及び「分科会 2」一国際奉仕・青少年奉仕・一般部門を、併せて「家族の集い」を開催します。

そして夕刻から「RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会」を実施します。

2 日目は「本会議」と「ライブ番組形式による講演」を予定しています。

当大会は、米山記念奨学財団設立 50 周年にちなんだ青少年活動に関するものと、社会の変化・AI について学び奉仕活動はどう変化して行くかを考える機会を提供させて頂くプログラムを用意しております。

概略内容につきましては、チラシ・ポスターにてご案内させていただくと共に各クラブの例会時に広報させていただき、多くの会員の皆様にご参加いただけるよう努めてまいります。

地区代表委員 藤田 弘道 (大阪東 RC)

○活動方針

片山ガバナーと『ロータリーの友』誌および『ロータリーの友』ウェブサイトに関して意思疎通を図り、「ロータリーの友委員会」に地区代表委員として出席し、積極的に協議に参加して建設的な提言を行います。

また、地区内ロータリアンに対して、『ロータリーの友』誌、『ロータリーの友』電子版およびその他の刊行物についての有効な活用を促し、またそのために必要な活動に取り組みます。

さらに、地区ならびに地区内ロータリークラブの活動やその他の情報収集に努めるとともに、地区内情報をロータリーの友編集部に送り、それをもとにした取材に協力します。

○活動計画

- ① 地区広報・公共イメージ向上委員会や地区内ロータリークラブの例会に出席し、『ロータリーの友』への理解を深めるとともに、読書率の向上と活用促進を呼びかけます。
- ② 『ガバナー月信』を通じて、『ロータリーの友』などに関する情報を積極的に発信します。
- ③ 地区大会、地区研修・協議会など地区内の各種会合に参加し、関連委員との連携を構築して地区内活動情報の収集に努め、友編集部に連絡します。
- ④ 地区内のロータリアンに対して、「New Generation」、「私の一冊」、「声」など『ロータリーの友』への投稿を呼びかけます。
- ⑤ ロータリーの友委員会における情報を持ち帰り、地区や地区内のロータリークラブに発信します。

地区財務委員会

委員長	沖中 隆志	(大阪東 RC)
委員	植田 昌克	(大阪北 RC)
〃	飯井 克典	(大阪南 RC)
会計	西宮 宣之	(大阪東 RC)

○活動方針

地区財務については、地区運営資金会計・地区活動資金会計・特別会計の大きく分けて3つの要素から構成されています。

地区運営資金会計は、各種負担金、地区主催の会議費、ガバナー事務所経費等が主たる資金使途になります。

地区活動資金会計は、地区に属する各種委員会の奉仕活動等が主たる資金使途になります。

特別会計は、一定の目的に沿った収支や積立金を管理するための単独会計で、地区大会資金・RI 規定審議会派遣積立金・危機管理積立金・地区基金・米山奨学生活動費の5項目の会計があります。

予算については、地区会員数を3600名、地区分担金17,000円として計画を立てており、重要な方針は、地区運営資金の収支バランスを取ること、及び地区活動資金については前年同等の予算配分を行うということにあります。

地区運営資金は1人当たり10,000円とし、ガバナー月信についてはWEB配信を基本としながら、第1号、第7号、最終号と年3回は紙媒体で発行し、ガバナー方針や地区の状況をより確認し易くなるように配慮しています。

地区活動資金は1人当たり7,000円とし、大阪中之島RCのインターアクトの新規立上げやロータリー学友会委員会の立上げを含み、各委員会ごとの予算配分に差はあるものの、委員会活動が活発に行えるように配慮しています。

今年度は米山記念奨学会財団設立50周年という記念すべき年度でもあり、予算内においてその支出も検討しています。

○活動計画

1. 予算案の策定をする
(地区チーム研修セミナー、PETS、地区研修・協議会での説明)
2. ガバナー事務所の会計を含む資金管理等についての打ち合わせ及び状況の確認を行う
3. 財務委員会を定期的に開催し、各委員会活動について予算執行の収支確認等の事務運営を行う

地区規定審議委員会

地区代表議員	大谷 透	(大阪西南 RC)
地区副代表議員	岡部 泰鑑	(大阪城南 RC)
直前地区代表議員	横山 守雄	(大阪中央 RC)
直前ガバナー	松本 進也	(大阪北 RC)
ガバナー	片山 勉	(大阪東 RC)
ガバナーエレクト	山本 博史	(大阪南 RC)
委員会幹事	四宮 孝郎	(大阪西南 RC)
地区代表幹事	塩谷 眞治	(大阪東 RC)

○活動方針

RI の立法機関である「RI 規定審議会(COL: Council Of Legislation)」は 3 年毎に米国のシカゴで開催されることになっており、次回は 2019 年 4 月に予定されているが、2017-18 年度から毎年「決議審議会」がオンラインにて開催されることになっている。

ロータリーの組織が民主的なルールに従って運営されていることを全会員は理解し、参加意識を持つことが期待されているが、そのためには各審議会への関心を高め、立法案提出の活性化を図ることが必要である。

クラブ及び地区から提出される立法案が、正規の手続きを踏まえ「決議審議会」や「RI 規定審議会」で審議されるように、その内容や提出方法・期日などに関して、当委員会では提案者の相談に応じ、支援する。

○活動計画

- ① 2016 年 4 月の RI 規定審議会にて採択された立法案と、各クラブ細則との整合性維持に務める。
- ② 2017 年 10 月に開催される決議審議会への決議案の RI 提出締切期日は 6 月末であるが、その後の経過報告を適宜行う。
- ③ 2019 年規定審議会に提出する制定案の RI 提出締切日は 2017 年 12 月 31 日と定められているので、クラブ・地区から提出された制定案を検討し、期限までに提出できる様に支援する。
- ④ 提出された両立法案は、地区内への理解を広めると同時に、各審議会での採択へ向けて努力する。
- ⑤ 2017 年 10 月にオンラインで審議され採択される決議案の正しい理解が地区内全会員に行き渡るように努める。

以上

ガバナー指名委員会

委員長	松本 進也	(大阪北 RC)
委員	高島 凱夫	(大阪中之島 RC)
〃	福家 宏	(八尾中央 RC)
〃	泉 博朗	(大阪帝塚山 RC)
〃	立野 純三	(大阪 RC)

○活動方針

国際ロータリー細則第 14 条に「地区は、ノミニーを、ガバナーとして就任する日の直前 24 ヶ月以上 36 ヶ月以内に選出するものとする。選出されたロータリアンは、『ガバナーノミニー・デジグネート』という肩書を担い、ガバナーに就任する 2 年前の 7 月 1 日にガバナーノミニーの肩書を担うものとする。」とあります。

地区ガバナーノミニーの選出方法として、指名委員会の手続、直接の郵便投票、あるいは地区大会での選出という三つの方法が明記されています。

当地区ではガバナー指名委員会による選出方法を採用しています。直前ガバナーが委員長となり、パストガバナーの中から、各年度の指名委員会委員を委嘱し、ガバナー指名委員会が RI の定めに従ってガバナー候補者を選出すべく活動いたします。

意義ある業績賞委員会

委員長	松本 進也	(大阪北 RC)
委員	泉 博朗	(大阪帝塚山 RC)
〃	立野 純三	(大阪 RC)

○活動方針

RI 章典によりますと、「意義ある業績賞」は重要な問題またはニーズに取り組むクラブの活動を地区で表彰するプログラムであると定められております。その目的は、全てのクラブに新プロジェクトを奨励し、かつクラブが模範的な活動を行うことの重要性について理解を深めることであり、下記の事項を満たすものでなければならぬと記されております。

- 地域社会の顕著な問題やニーズに取り組むもの。
- 殆どの、又は全てのクラブ会員が、単に財政面の奉仕ではなく、身をもって奉仕活動に参加し、クラブの規模と資源に比例するものであること。
- 地域社会において、ロータリーのイメージを強化するものであること。
- 他のロータリークラブも実施出来るようなものであること。
- 表彰年度に進行中、或いは完了されたものであること。
- 単一のロータリークラブによって実施されたものであること。

当委員会は、以上の条件に基づき、受賞資格クラブを検討し、地区ガバナーに受賞候補クラブを推薦いたします。

